

図書館だより 7月

令和6年度
下野市立国分寺中学校

もうすぐ夏休み。部活や出かけるのもいいけれど、暑い夏は涼しい部屋で読書するのもいいですね。

せっかくの長い休みなので今まで読んでことがない分野の本や、今までより少し長い文章の本に挑戦してみましよう。



夏休みのための特別貸出

貸出期間…7月8日（月）～7月19日（金）

貸出冊数…5冊まで

※夏休みが始まる前に読み終えた本は、他の本に借り換えることもできます。

返却日…9月2日（月）

※図書館が閉まっている時は、廊下の返却ポストに入れてください

ここ大事

今、借りている
本を全部返して
から借いてね



7月7日何の日？

7月7日は何の日でしょう？そう！カルピスの日です。

これから暑くなってくるとカルピスがおいしい季節ですね。カルピスというと夏らしい爽やかな水玉模様ですが、実は水玉ではないことを知っていましたか？

あの水玉模様はカルピスの発売日が7月7日の七夕だったことから、天の川の星をイメージしてデザインされました。そんなカルピスは発売されたのはなんと

100年以上前！カルピスの歴史は、生みの親である三島海雲がモンゴルで酸乳と出会ったことから始まります。1919年（大正8年）に日本初の乳酸菌飲料として誕生したカルピスは今年で105歳。この夏、カルピスを飲んだときにはこの話を思い出してみてください。



『カルピスをつくった男 三島海雲』

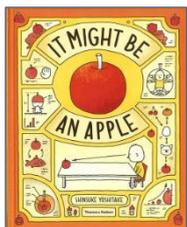
山川 徹 著



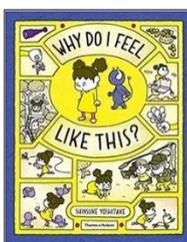
ヨシタケシンスケの本あります



ヨシタケシンスケという名前は聞いたことありますか？知らない人は、この絵を見たことがあるのではないのでしょうか。小学生の時に「りんごかもしれない」や「りゅうががあります」などの絵本を読んだことがあると思います。



私はヨシタケシンスケの本は「みえるとか みえないとか」という絵本が一見SFチックな話かと思いきや、とても考え深くて好きです。



国分寺中学校には、ヨシタケシンスケの絵本は1冊しかありませんが、ヨシタケシンスケがイラストを描いた本は結構ありました。そして、最近ヨシタケシンスケの絵本の英語版も新しく入りました。



今まで日本語で読んでいた絵本を英語で読み比べてみるのも楽しいと思います。この夏、ヨシタケシンスケの本を読んでみるのはいかがでしょうか。

新潮文庫「中学生に読んでほしい30冊」図書館に

コーナーを作りました。この冊子から何冊か紹介します。



『博士の愛した数式』
小川 洋子 著

記憶力を失った博士との幸福な日々。
せつない、奇跡のラブストーリー。



『ツナグ』
辻村 深月 著

死者との再会を叶える「使者」。
一生に一度、あなたが会いたいのは誰？



『西の魔女が死んだ』
梨木 香歩 著

魔女のおばあちゃんと過ごす、
少女に希望をくれる特別な物語。



『夏の庭』
湯本 香樹実 著

老人の死ぬ瞬間を見るために夏休み
「観察」をし始める。しかし「観察」は
老人との深い交流へ姿を変えてゆく。



図書館カレンダー 7月

★…1日開館
○…昼休み開館

月	火	水	木	金
1 ★	2 ○	3 ○	4 ○	5 ★
8 ★	9 ○	10 ○	11 ○	12 ○
15 休	16 ★	17 ○	18 ★	19 ○